

令和元年度分大船渡市教育委員会事務の点検・評価結果に対する意見

1 事務事業

番号	事務事業名	点検結果
1-1-1	三陸公民館施設管理・運営事業	・成果指標に施設の利用満足度があってもいい。
1-1-2	博物館管理事業	・成果指標「博物館入館者数」について、5-1-2 博物館展示事業も同じ成果指標を用いている。成果指標の妥当性を検討、もしくは両事業の目的が同じならば事業を一つにした方が良い。
1-1-3	博物館施設改修事業	・「今後の方向性等」に「公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、改修を計画的に」とある。成果指標の「改修済件数」について、目標設定を何に求めるのか、検討が必要である。
1-2-1	地域社会教育振興事業	・成果指標を追加すべき。地区公民館の生涯学習事業数や要求額に対する補助割合などがあると評価しやすい。 ・進捗度を「B」評価とした根拠が見えない。「進捗度とその理由」に「B」評価に至る理由について追記が必要である。
1-2-2	市民講座事業	・意図について、「多様な分野」という表現に「英会話」について内包されている。英会話の記述は省略しても良い。 ・成果指標の目標を達成している。進捗度は「A」評価で良い。 ・「今後の方向性等」に「参加者が限定的」とあるが、高齢化社会に向け、生涯学習という意味で高齢者の満足度がとても高いことにポイントを強く置いて良い。掘り起こしをかけるより、内容を充実させ、そして高齢者が参加しやすく楽しいという意識を持てることが、これからの時代に必要なことである。
1-2-3	博物館教育普及事業	・成果指標「普及事業への参加者数」について、気仙地域の特色である展示物がたくさんあり、地質学的にも貴重な地域でもある。研修の場や修学旅行などに、もっとPRし、参加者増加に努めてほしい。
1-3-2	生涯学習推進のつどい開催事業	・年1回の開催で生涯学習の重要性について理解を深めることができるのか、在り方について検討が必要である。
1-3-3	生きがいセミナー事業	・高齢化社会において、今後充実していくべき事業である。多くの高齢者が集まる工夫を講じてほしい。
2-2-1	研究会講師派遣事業	・成果指標を検討すべき。対象は小・中学校教員である。児童生徒の理解度ではなく、派遣回数、申請数や満足度など講師が教員を指導していることが伝わるものが良い。
2-3-1	教育相談員配置事業	・成果指標に、相談件数や不登校児数も追加した方が良い。
2-5-1	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業(学校支援事業)	・「今後の方向性等」について、国庫補助が終了するが、スクールバスの添乗業務は子供の安全安心を確保するのに大事な部分となり、教育現場からは要望が強い。教員が乗った時代もある。ぜひ継続してほしい。

番号	事務事業名	点検結果
3-1-1	家庭教育学級	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標を追加すべき。成果指標「学級に参加して有意義だったと感じる参加者の割合」は高いが、参加率が低ければ全体としての意義は薄れる。成果指標に参加率もしくは参加者数を加えると評価しやすい。
3-1-2	教育振興運動事業	<ul style="list-style-type: none"> 「今後の方向性等」は現状維持としているが、学校統合があり難しい関係にある。課題が出ているならば改革改善とすべき。
3-2-1	青少年健全育成推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標を検討すべき。意図と成果指標が合っていない。成果指標は補導数の割合より、事業内容に対する数値が良い。マイナス的な成果指標はおかしい。 「進捗度とその理由」は、プラス評価のみである。進捗度を「B」評価とした理由を追記すべき。
4-1-1	学校体育施設開放事業	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標に利用者数も追加すべき。 「今後の方向性等」に、閉校した学校の体育施設の対応についての記述も必要である。
4-1-2	体育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設が狭く、高総体などの大きな大会を誘致できない。大会を子ども達に見せ、競技の面白さを伝え育てていくのも一つの教育であり、交流人口の拡大にもつながる。
4-2-1	スポーツ推進委員設置運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標を追加すべき。「今後の方向性等」に「各種行事への参加率向上」とある。参加率で評価が変わるため、行事への参加率か参加人数も必要である。 組織の構成の見直し、委員の意識改革が必要である。推薦地区の方から目的や役割をしっかりと意識させ、参加率を高めて活動を充実させてほしい。
4-3-1	各種スポーツ大会運営支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 進捗度は「A」評価で良いが、課題が多く「B」評価に近い。 「進捗度とその理由」について、高レベルの大会を当市で開催するには、まずは環境を整えなければ誘致できない。体育施設の整備と指導者が必要である。
5-1-1	文化財調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標「発掘調査による出土遺物量」の実績が目標を大きく下回っている。進捗度を「A」評価とした理由についての記述が必要である。
5-1-2	博物館展示事業	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標「博物館入館者数」の目標に対し、実績がかなり少ない。教育委員会だけで博物館展示を行うのではなく、大船渡市内を周遊するコースに組み込み、スポーツ施設や商業観光施設などと協力することが必要である。 成果指標に、常設展示数など展示品に対する数値や入館者の感想・要望があれば良い。 博物館の収蔵品も増え、施設の拡張も必要となってくるだろう。分館のようなものがあったら良い。収集品を市民に見せて勉強してもらい、歴史のロマンを児童生徒にも知ってもらいたい。
5-2-2	こども郷土芸能まつり開催支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 隔年開催で、令和元年度に事業を行っていないため、評価対象ではないと考える。 事業名や事業の在り方について検討が必要である。

2 基本事業

基本事業名	点検結果
1-1 学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の進捗度は全て「A」評価だが、総合的な評価となる基本事業の進捗度を「B」評価とした根拠を「進捗度とその理由等」に追記すべきである。また、必要としている「更なる取組」について具体的に記載した方が良い。 ・成果指標の工夫が必要である。成果指標を『生涯学習のための施設が整備されている』と答えた市民の割合（市民意識調査）」としているが、市民意識調査では、市の施設だけではなく、生涯学習の場や機会があるかという意味で答えている可能性もある。どこに問題があるか、更に掘り下げた質問でなければ改善点は見えてこない。
1-2 学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「進捗度とその理由等」に記載されている「インターネットやSNS、各種情報媒体等を活用した、より積極的な情報発信」は、これから大事になってくる。併せて、魅力ある講座の研究に、より一層努めてほしい。 ・市民講座は地域づくりとも大いに関係があることから、地域からの広報も重要である。
1-3 学習活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「進捗度とその理由等」で「若年層が参加できるような」とあるが、市民芸術祭に、小・中学生は多数参加している。高校生が参加していない。小中だけでなく、小中高の連携も今まで以上に強めてほしい。情報交換も含め芸術文化の向上という意味でも必要である。
2-1 教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「進捗度とその理由等」について、教育コンピュータの整備など教育設備や教材整備がいかに充実されているか、実際に学習者から見て、どのように教育環境が充実したかという評価が必要である。成果指標の「図書充足率」は適正だと思うが、そういった評価も加味した進捗度の評価をしてほしい。
2-2 個に応じた学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗度は「A」評価が妥当である。成果指標の目標に対し実績の値は低い、全国平均以上であれば評価していい。 ・「進捗度とその理由等」について、「不得意領域も底上げ」も大事だが、併せて得意領域を更に伸ばすことも重要視し、追記してほしい。
2-3 豊かで強い心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗度は「A」評価が妥当である。成果指標の目標も高く、成果指標の実績は回答した学年のカラーで上下しやすい値であるため、当該年度の実績値のみで評価をする必要はない。 ・成果指標の目標値の設定の検討が必要である。
2-4 たくましく健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標を追加すべき。意図に「健康でたくましく成長する」とある。成果指標に心身の発達、体の発達について健全に育っているのかがわかる指標があれば良い。

基本事業名	点検結果
2-5 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗度は「B」評価が妥当である。成果指標『学校を中心に地域と協力して教育が行われている』と答えた市民の割合」の目標に対し、実績が大分低く、課題もある。 ・コミュニティスクールに向けて、課題を持って強力に進めていかなければならない。保護者や地域の方々が学校をどう見守っていくかという意識改革をしていく必要がある。何もせずに待っているだけでは、どうにか人が集まって動いたが、何も変わらないということになりかねない。
3-1 地域の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標や目標値の設定の仕方を検討すべき。成果指標で評価すると「B」だが、地域の方は頑張っている。子ども達も大きな問題も無く、落ち着いて学校生活を過ごしている。 ・意図の「健全育成に連携して取り組む」に関係組織など連携先を追記すべき。 ・「進捗度とその理由等」について、取組みの中身が漠然としている。具体的な内容の記載を求む。
3-2 市民意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の目標値は高いが、願いとしては、これくらい関心を持ってほしい。 ・「進捗度とその理由等」の文章をわかりやすい表現にしてほしい。
4-1 スポーツ環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標「スポーツ施設が整備されている」と答えた市民の割合が低い。もっと充実できるよう努力をお願いしたい。 ・「進捗度とその理由等」に「交流人口の拡大」とある。大きい大会を開催しなければ、交流人口の拡大に繋がらず、市民体育館では県大会も開催できない。大きい大会が開催できる施設の整備をお願いしたい。
4-2 スポーツ・レクリエーション団体の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「進捗度とその理由等」について、進捗度が「A」評価でありながら、理由には課題が多く記述されている。「A」評価とした理由を記載すべき。 ・教員の働き方改革として、部活動支援など子ども達の外部指導者を充実させる事業などを取り入れ、成果指標としたらどうか。
4-3 スポーツ・レクリエーション活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標を検討すべき。成果指標の実績は低いが、世の中の健康志向なども考慮すると市民の関心は向いてきていると考えられる。成果指標「市民大会参加者数」だけでは、成果がわからない。 ・意図にスポーツ人口を増やすということも追加した方がいい。
5-1 文化財の保存と活用	
5-2 伝統文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・

3 総括（施策）

施策名	点検結果
1 生涯学習の推進	・成果指標の目標と実績の値が大きくかけ離れている。市民意識調査の年代別の割合が分かると手立てが取りやすいのではないか。市民は多様な活動をしているが、生涯学習をしていると思っていないのかもしれない。目標値の立て方を吟味した方が良い。
2 学校教育の充実	・意図に「知・徳・体」の調和とあるが、「進捗度とその理由等」に徳の記述が足りない。バランスよく、意図に合わせた記述が必要である。
3 青少年健全育成の推進	・総括の成果指標は、事務事業の指標と重複して支障がないのか。総括の評価をある一部分だけ切り取って判定して良いか疑問である。
4 スポーツ・レクリエーションの振興	・意図に、スポーツ人口を増やすことも追加した方がいい。 ・「進捗度とその理由等」について、基本事業の課題等を網羅しながら、文言を整理してほしい。
5 地域の歴史・文化資源の継承	・震災後、伝統文化のイベントも変化し、盛んになっている。関係団体も伝統文化の継承、育成に尽力している。

<その他>

- ・数学と英語の学力向上が課題となっている。英語は英検受験料が予算化され、力を入れて取り組んでいる。数学にも目に見える取り組みをしてほしい。